

兵庫県保険医協会

在宅医療点数研究会(医科)

== 県下全域の会員医療機関よりご参加いただけます ==

三田会場・Zoom 併用 〈主催：北摂・丹波支部〉

日時 3月27日(土)14時～16時

会場 三田市・キッピーモール6階
まちづくり協働センター多目的ホール

講師 三田市・ひろせクリニック
院長 廣瀬 智 先生

来場定員 30人(申込順)

Zoom 限定 〈主催：淡路支部〉

日時 4月17日(土)15時～17時

講師 淡路市・たかたクリニック
院長 高田 裕 先生



研究会テキスト

- いずれも参加費は1人1,000円 (Zoom視聴者は事前振込。三田会場来場者は当日受付にて徴収)
- テキスト『在宅医療点数の手引 2020年度版』は1冊4,000円 (税込・送料別)

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840 まで

I. 「Zoom」視聴のメール申込

会員医療機関の方はどなたでもご参加いただけます。メールの件名を「在宅医療点数研 Zoom 視聴 3/27」または「在宅医療点数研 Zoom 視聴 4/17」にし、本文に①地区・医療機関名、②参加者名、③「在宅医療点数の手引」注文冊数を記載の上、下記アドレスまで送信下さい。招待メールを返信し、書籍とともに参加費・書籍代の振込用紙を送付いたします。

3/27 kuriyama-h@doc-net.or.jp (栗山) 4/17 t-adachi@doc-net.or.jp (足立)

II. 来場参加 (3/27 三田会場のみ) の F A X 申込

F A Xに「在宅医療点数研 3/27 三田会場申込」と明記し、①地区・医療機関名、②参加者名、③電話番号、④「在宅医療点数の手引」注文冊数を記載の上、078-393-1820 まで送信ください。

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

344号

2021年3月15日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

健康と医療について語り合う会 感想文

感染拡大中こそ正しい知識と対策を



感染予防などについて講演する水間先生(左)を紹介して

神戸支部は昨年11月26日、神戸市立総合福祉センターで健康と医療について語り合う会を開催した。これは聴覚障害者が医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会(いのちを考える会)」の講師派遣の要請に応じているもの。東神戸病院内科の水間美宏先生が「コロナ対策、その考えで大丈夫か? —一つ一つドクターに聞いてみる—」と題して講演し、市民、聴覚障害者の方を中心に20人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

新型コロナウイルス感染が広まっている中での学習会でした。開催にあたり、「感染が拡大している中だからこそ、正しい知識を知ってもらって正しい対策をとってほしい」という気持ちから開催に至りました。

講演内容はコロナウイルスについて、どう感染するのかの説明や講師の施設での発熱外来の様子、診療時の防護の写真があり医療現場の様子がよくわかりました。

感染予防に関してはQ&A形式のスライドで写真や絵がたくさんあり、文字を読むよりわかりやすく工夫されていたのが印象的でした。

(2面につづく)

(1面のつづき)

マスク装着の悪い例に国会の写真があり、1人1人どこが悪いのか指摘してあり衝撃とともに印象付けた後に、正しい装着手順の絵が映し出されて演出も素晴らしいと思いました。

家族に感染が疑われた場合の対応も、絵をたくさん使ったスライドで文字が苦手な高齢者や聴覚障害者にも配慮された内容だったと感じました。

受診の方法やワクチン開発に関する現状紹介もあり、コロナ禍だからこそ聞くべき講演だったと思いました。

(H.M)

神戸市「第8期介護保険事業計画(案)」に意見を提出

利用者が安心して利用できる介護保険に

神戸市は昨年12月、介護保険料のさらなる引き上げや予防施策の強化等を盛り込んだ「第8期介護保険事業計画(案)」を発表し、1月22日までの意見公募を行った。これに対し、神戸支部は介護保険料の引き上げを行わないことや利用者の負担軽減策等を行うように求める意見を田中孝明支部長名で提出した。意見の全文を掲載する。

「第2章 基本理念と目標」の4で「介護保険は、保険料と税金で支えられている市民の『助け合い』の制度」とし、利用者の自立支援やサービスの適正化の取り組みが必要とありますが、介護保険制度は市民の助け合いではなく、政府・自治体が責任をもって市民に必要な介護を提供する社会保障制度です。また、なぜ介護保険制度で自立支援や適正化の取り組みを強調する必要があるかも不明であり、重要なのは3にある利用者が安心してサービスを利用できることです。4の削除を求めます。

「第3章 施策」では、介護予防が冒頭に置かれて強調されていますが、介護保険で大切なことは介護が必要となった人が必要な介護サービスを安心して利用できることであり、施設不足や高すぎる自己負担により、必要な介護が受けられない現状を改善することです。特養の増設や人材の育成等に重点を置くとともに、介護保険料のこれ以上の引き上げは行わないことを求めます。また、非課税者でも保険料を負担しなければならない制度を改善してください。

介護保険料を引き下げるために、一般会計の繰り入れと国庫負担増額、利用者負担を引き上げないことを国に求めてください。また、施設の食費・居住費の負担増への補助や高額介護サービス費上限引き上げに対する補助を、神戸市独自で設けることを求めます。

介護労働者の賃金・労働条件を改善・保障する市独自の財政的支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、経営困難となった介護事業者に対してその実態を把握し、関係者の声を聴いたうえできめ細かい救済策を講じてください。

支部研究会「一般診療所で新型コロナウイルス感染症とどう向き合うのか、どこまで診れるのか？」講師に聞く

患者さんに安心の検査体制を準備

診療所にPCR検査機器を設置

昨年11月7日の神戸支部研究会「一般診療所で新型コロナウイルス感染症とどう向き合うのか、どこまで診れるのか？」で、講演された中央区・東神戸診療所の郷地秀夫先生。医院の2階に検査室を設置し2月からPCR検査が可能となったのにあわせ、新型コロナウイルスに対する発熱外来や検査の取り組みについて紹介いただいた。(聞き手：編集部)



中央区・東神戸診療所所長

郷地 秀夫先生

—昨年11月のご講演では、一般診療所でも新型コロナ疑いの患者さんを診られるようにと、発熱外来とともに、抗体検査・PCR検査の機器を院内に設置されると伺いました。

はい。新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、症状があって検査を希望する方が検査が受けられないという状況があり、何とかしたいという思いから始まりました。それで昨年夏頃から発熱外来に加えてPCR検査まで診療所内でできる体制をつくろうと準備してきました。

昨年末に、1階の裏口に発熱外来専用の出入り口を設置し、他の診療部門と完全に分離した待合、診察室を造りました。部屋にはHEPAフィルターと陰圧機を設置しており、安全にPCRの検体採取(鼻咽頭)もできます。(写真左上)。また、2階の空き部屋をBSL2の検査室に改装し、RT-PCR検査機(米国BD社製BDMAX)と抗体検査機(ロッシュ社cobas e411)を設置しました(写真左下)。抗体検査は昨年秋から可動できたものの、PCR検査機は11月納入予定が2月にずれ込み、やっと2月16日からPCR検査を開始しております。

抗体検査は遺伝子に対するN型抗体に加え、スパイク蛋白を標的抗原にしたワクチンと同じS型抗体も定量できます。これまでにPCR陽性者の約100人に抗体価を測定しています。全員陽性ですが、力価が1.3~2,400/COIと人により1,000倍以上違います。抗体検査はワクチン接種の前後に行うことで抗体が十分できたかの判定に利用できます。また、PCR検査は医療や高齢者施設関連などのスクリーニング検査にも広く利用していければと考えています。

(上) 発熱患者専用の診察室は完全に同線分離し陰圧装置を備えている
(下) 診療所2階に設置されたPCR検査機器。同検査室には抗体検査機器も設置されている

—診療所としてはかなり大規模な設備ですね。他医療機関から検査を依頼できるのでしょうか。

もちろんです。発熱に限らず、少しでもコロナの疑いのある患者さん、PCR検査が必要と思われる患者さんがありましたら、御気軽に御紹介ください。月曜日~金曜日までの11時半~13時まで発熱外来を行っています。また、PCR検査を御自身が当施設でしてみようと思われる先生がおられましたら、下記まで、ご一報ください。

※お問い合わせは、東神戸診療所Tel 078-231-9031 まで